

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・男女共に握力は全国平均に達している。
- ・運動が苦手な児童でも取り組んでみようと思う平易な場を設定したことで、段階的に技に挑戦できた。
- ・児童同士が関わりあう運動を多く取り入れることができた。

(2) 課題

- ・体力調査の結果において、50m走、立ち幅跳び、20mシャトルランの結果が、全国平均を下回る学年が多くあった。
- ・学年が上がるにつれ、外で遊ぶ児童が限られてきている。
- ・習い事で運動している児童と、運動習慣がない児童が二極化している。

2 課題分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・握力、上体起こしは全国平均を上回っている。 ・立ち幅跳びは若干全国平均を下回っている。	・視覚化、簡易化をした分かりやすいきまりを設定したことで、楽しく活動していた。 ・工夫を話し合う活動にまでは至らなかった。	・順番や決まりを守って運動しようとする児童は多い。 ・きまりの理解ができなかったり、苦手な運動であったりすると取り組めない児童がいる。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・握力、上体起こし、長座体前屈は全国平均を上回っている学年が多い。 ・50m走は男女ともに全国平均を下回っている。	・児童同士が関わり合い、お互いの動きのよさやポイントを伝え合うことができる。 ・自分に合った練習の場を正しく選ぶことができない。	・何事にも前向きに取り組み楽しく運動をしようとする児童は多い。 ・取り組んでみてできないうちに苦手意識をもち、チャレンジしようとする意欲をなくしてしまう児童がいる。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ソフトボール投げは都平均全国平均を10m程下回っている。 ・どの種目においても全体的	・児童同士が関わり合い、お互いの動きの違いやよさを比較して伝え合うことができる。	・体を動かす楽しさや心地よさを味わうために必要な基本的な体の動きが身に付いておらず、体育に意欲

に全国平均と同じかやや下回る。	・自己の能力に適した課題解決の仕方、記録への挑戦の仕方を自分で考え、その場に合った練習を選ぶことは不十分である。	的に取り組めない児童もいる。
-----------------	--	----------------

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・児童が成功体験を得やすいように易しい課題やきまり・場の設定をする。 ・準備運動と共に、単元に合わせた補助運動を行う。	・きまりを理解させるために視覚化、簡易化をした分かりやすいきまりの設定を行い、さらに楽しめるような工夫を話し合っ決めてられるようにする。	・友達と応援し合ったり、友達のよいところを見つけ合ったりする活動を設け、誰とでも仲良く、運動遊びができるようにする。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・タブレットで自分や友達の動きを撮影して、技能を客観的にとらえられるようにする。 ・手本の動きを動画や実際に見せ、大切なポイントを視覚的に伝える。 ・走運動では、3秒間走を取り入れ、スタートの練習をする。	・ワークシートを活用し自分の課題を選ぶ時間を設ける。 ・児童同士が課題と向き合い、話し合う時間を活動の合間と最後に確保し、考えたことを表現することができるようにする。 ・思い切りボールを投げる楽しさを味わえるようなゲームをたくさん経験させ、投げるという動きを身に付けさせる。また、投動作につなげるような用具を使って、楽しく経験できるようにする。ゲームを楽しみながら技能を身に付けさせる。	・スモールステップで課題を解決していけるように授業を組み立てる。 ・児童の実態に合ったきまりや場の設定をし、楽しく活動することができるようにする。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・スモールステップの場を設定し、達成感を味わえるようにする。 ・技能に関する学習動画を活用して、技能ポイントにつ	・ワークシート、デジタル教材を活用し自分の課題を考える時間を設ける。 ・ペア学習やグループ学習を活用してお互いに技に取	・児童同士が励まし合い、認め合う場を設定し、運動する意欲を高められるようにする。 ・運動が苦手な児童でも取り

いての理解を図る。 ・ボール運動の学習の時間数の見直しを行い、遠くに投げるための技能を身に付けるようにする。	り組んでいる姿を見合い、アドバイスし合える場を設ける。 ・ICT を活用し、体の動かし方やポイントを探り、記録の更新に取り組めるようにする。	組んでみようと思う平易な場の設定を行い、段階的に技に挑戦できるように工夫する。 ・継続して記録を計測し、自身の成長を見取れるようにする。
---	---	---